

令和5年度チーム伴走型知財経営モデル支援・広報事業 成果報告会

知財経営が拓く新たな未来 ～伴走型支援チーム12社の挑戦とその軌跡～ 開催報告

- 九州経済産業局では、地域の中堅・中小企業12社に対して、知財及び多岐にわたる経営課題に対応できる専門家の支援チームを組成・派遣し、各社5回の伴走支援を実施。
- 成果報告会ではオンラインにて約140名が参加のもと、各企業及び支援リーダーにより伴走支援の成果を報告するとともに、基調講演を通じて、知財経営の重要性を伝えた。

【概要】 令和6年3月6日（水）15:00～18:00 オンライン配信

主催：九州経済産業局、九州知的財産活用推進協議会

1. 開会挨拶 九州経済産業局 地域経済部長 柴谷 昌宏
2. 講演 「D X時代の到来に向けた知財マネジメント」
弁理士法人 I P X 代表弁理士CEO 押谷 昌宗 氏
3. 事業概要説明 事務局 有限責任監査法人トーマツ
4. 成果報告 各企業×リーダー専門家による報告
5. 質疑応答
6. 九州における知財関連の支援施策・閉会挨拶 九州経済産業局 知的財産室長 中井 要



会場の様子



開会挨拶



押谷氏による基調講演



成果報告



質疑応答



閉会挨拶

4. 各企業×リーダー専門家による報告

【チームリーダー： 株式会社シクロ・ハイジア 小林 誠 氏】



チームリーダー小林氏 と（右）株式会社アグリツリー 織田 氏



（右）株式会社ふく成 平尾 氏

①株式会社アグリツリー（福岡県） 事業開発 織田 和徳 氏

●開発中の新技術を権利化する際の「的を絞った」先行技術調査や今後の技術開発のための「より幅広い」先行技術・関連技術調査方法について支援を受けたことで、目的に応じた調査スキルが身につきました。

●スタートアップの弊社は将来的に従業員の増加が見込まれるため、今後の技術開発や権利化に戦略的に対応できる社内の体制構築の必要性に気付きを与えていただいたため、早速対応しています。

知財戦略

特許情報活用



現地視察の様子



支援の様子

②株式会社ふく成（熊本県） 取締役 平尾 有希 氏

●私たちが当たり前だと思っていたことが実は貴重な競争優位性であることに気付き、自信を持って事業を進められるようになりました。加えて、ノウハウも知財であるということを知り、社内全体で情報管理の意識を高める必要があることを学びました。

●ブランドの育成を共に図る地域内の仲間作りと、今後のブランディングに必要なメディアへの訴求ポイントの整理ができました。

マーケティング・ブランディング戦略

営業秘密管理



とらぶ（ふく成）



現地視察の様子

【チームリーダー： 合同会社Design and Management 石坂 昌也 氏】



チームリーダー石坂氏と（右）株式会社天野商店 天野 氏 （右）トイメディカル株式会社 竹下 氏

③株式会社天野商店（福岡県）

代表取締役 天野 茂晃 氏

●ペルソナの設定＝ターゲットの設定が一番難しく、今までは取引先の意向に沿った“もの”ありきの新商品開発になっていたところ、今回の支援でしっかりとしたペルソナを設定し、その後の開発をスムーズに進めることができるようになりました。

●商標の取得方法に様々な事前の準備とテクニックがあることを知りました。商標を活用した売れる商品作りを最優先に取り組んでいきたいと考えています。

ブランディング



現地視察の様子

新商品開発



支援の様子

④トイメディカル株式会社（熊本県）

代表取締役社長 竹下 英徳 氏

●自社の思いを上手にアピールする体制作りにおいて適格なアドバイスをいただいてSNSでの自己発信力が高めることができたこと、そして更にチーム内の一体感が増してきたことから、今回の支援を受けて非常に良かったと感じております。

●マークのデザインを検討する際の判断基準となる指針ができて、社内の意識も変わり、今後の自社が成長する過程での土台ができたと考えます。自社の価値を伝え、共有できるブランディングを進めていきたいと考えております。

知財戦略



零（しお）（トイメディカル）

ブランディング



支援の様子

【チームリーダー：法律事務所amaneku 代表弁護士・弁理士 山本 飛翔 氏】



チームリーダー山本氏 と（右）HMS株式会社 HU 氏 （右）株式会社ライトライト 齋藤 氏

⑤HMS株式会社（福岡県）

代表取締役社長 HU ZHENCHENG 氏

- 侵害予防調査を行う意義は非常に大きいことを改めて感じました。今後の事業展開において侵害予防調査は必要不可欠であり、調査目的に応じて必要な社内体制の構築と外部専門家の活用を図ってまいります。
- オフェンスというよりは、ディフェンスのための特許ポートフォリオの強化が必要であると感じたことから、特許調査の体系的な流れを理解する社内チームを設置して、必要な競合他社の動向を注視する対策の整理ができたので、今後、十分なディフェンスの構築を行いたいです。

侵害予防

知財戦略



支援の様子



⑥株式会社ライトライト（宮崎県）

代表取締役 齋藤 隆太 氏

- 新しいサービスの開発や機能の開発を行う際は、技術的な特異点がなくともサービス全体の設計に差別化のポイントがある場合は特許出願が検討できることを理解しました。
- 丁度、競争優位性を意識した新たなプロダクトの開発を行っていた時期に支援があり、特許出願まで終ることができて良いタイミングに支援を受けることができました。
- スタートアップ企業として知財で競争力を構築し、自社の事業戦略・開発戦略に照らしていかなるタイミングでも対応ができるように社内体制を整えていきます。

知財戦略

参入障壁構築



現地視察の様子

支援の様子



【チームリーダー：明和綜合特許デザイン事務所 代表・弁理士 藤掛 宗則 氏】



グループリーダー藤掛氏と（右）株式会社九州電化 山田 氏



（右）株式会社新原産業 新原 氏

⑦株式会社九州電化（福岡県）

専務取締役 山田 亮 氏

●めっきではあらゆる産業分野で実績がある一方で「自社の強みはなんだろう」という悩みがありました。この支援を機に、社員と自社の強みや、今後その強みをどう活かすか、今後の戦略を考えることが出来て良かったです。

●今まで社内の「営業技術会議」は、品質や納期を確認するだけでしたが、この支援を受けて開発した技術をシーズとしてどの分野に活かせるのか、また営業戦略についての議論ができるようになりました。

●外部機関と機能面の評価を今まで以上に連携して整理し、営業強化を図り、知財戦略を持って、重点指向の3分野も含めた協業先と共に進んでいきたいです。

事業戦略

ブランディング

技術棚卸



現地視察の様子



支援の様子

⑧株式会社新原産業（佐賀県）

常務取締役 新原 成道 氏

●餌箱・デジタル製品等を開発する現在の取り組みを顧客目線で追及する支援により、飼料要求率改善に向けた商品群と顧客に寄り添った伴走型のコンサルティングビジネスが当社のキラーコンテンツ・ブランディングとして明確になりました。

●これまでやってきた顧客とのPDCAサイクルが明確になったことで、従業員に営業モデルを示すことができました。また従業員（人材）が我が社のキラーコンテンツだということを改めて認識して、社内の機運も高まっていることからこの取り組みを続けます。

ビジネスモデル

ブランディング

知財戦略



現地視察の様子



支援の様子

【チームリーダー：CX Value Lab株式会社
代表取締役 廣瀬 隆彦 氏】



チームリーダー 廣瀬氏 と
(右) 株式会社興電舎 金田 氏

⑨株式会社興電舎（宮崎県）

技術部システム開発課 係長 金田 晃征 氏

●参加した社内メンバーがプロダクトリサーチやマーケティングについてほとんど知識が無く、初めは戸惑いもありましたが、回を重ねるごとに理解が深まり、最終的にはチーム一丸となって課題に取り組むことが出来ました。また、製品開発部門に足りなかったデザイン思考の学びは、支援後の製品開発に良い影響がありました。

●新規のソフトウェアの開発においても知財化できることがないかを検討するプロセスを設け、他社ソフトウェアとの差別化を図りながらビジネスとして成長させていきたいです。

提供価値の見える化

特許戦略



支援の様子

【チームリーダー：日本橋知的財産総合事務所
代表弁理士 加島 広基 氏】



チームリーダー 加島氏 と
(右) 株式会社シキシマ 林田 氏

⑩株式会社シキシマ（宮崎県）

代表取締役社長 林田 隆 氏

●開発技術を製品化する過程で提携先を決定する前に技術情報の整理や、技術の用途、市場性など検討すべきことがあることに気づくことが出来ました。

●プロジェクトをブランディングする上で重要なネーミングについてアドバイスを頂き、現場や顧客にささるネーミングを社内で決定して商標登録出願を行うことが出来ました。

●メーカーの考えだけではなく、漁業者・仲買い・エンドユーザーの要望に応えた売れる機械設計をしっかりと検討して開発する必要があると感じました。

●知財に関する社内意識に変化があったと感じており、知財は業界内の他者牽制だけでなく、広範囲での知財活用を視野に今後の権利化を考えたいと思っています。

知財戦略

社内体制整備



現地視察の様子



支援の様子

【チームリーダー：UniBridge 知財事務所 代表/弁理士/RTTP 坪内 寛 氏】



チームリーダー坪内氏 と (右) 株式会社フィールドワークス 星 氏 (右) 森山工業株式会社 日吉 氏

⑪株式会社フィールドワークス（長崎県）

代表取締役 星 友矩 氏

● 経営課題として他者権利の侵害リスクを懸念しておりましたが、知財について踏み込んで理解したことと侵害した場合の対処法を勉強したことで事業の基盤ができました。課題を言語化したことで、取り組む課題の優先順位が見えてきたと感じています。

● 弊社のホームページを越境 E C 対応のオンラインショップのプラットフォームに転換するための設計方法や、売買契約の仕方などユーザーを考えたフレームワークの法務的な組み方を教わりましたので、今後の経営に活かします。

事業戦略

知財戦略



支援の様子



現地視察の様子

⑫森山工業株式会社（宮崎県）

常務取締役 日吉 智典 氏

● 知財は自社には関係ないと考えていたのですが、支援を受けたことで、ISOと知財との関係性や、ノウハウも知財ということが分かり、自社の取組みにおいて知財が身近で必要なものだと感じました。

● 締結済みの契約書の知財リスクについて指摘と助言を受けたことで、自社の事業を守るため、契約が重要であることを理解したことから、今後の契約締結において注意したいと考えています。

知財戦略

営業秘密管理



支援の様子



現地視察の様子